

# 保護者、学校、教育委員会連携して 取組むあらゆる研修、日常活動で 命の大切さを指導

## 小中学校の先生と意見交換

### 総務常任委員会重点活動報告

委員長 池田寛一

「いじめ問題への取組み」

平成23年10月、滋賀県大津市の中学校において発生した、いじめが原因で生徒が自殺にまで追い込まれるという悲惨な事件は、警察が学校への家宅捜索に乗り出し、隠されていたものが次々と明らかになるなど、大きな社会問題へと発展しました。

総務常任委員会ではこの問題を重く受け止め、対岸の火事とせず、飛騨市のすべての小中学校の先生方との意見交換会を実施し、現状と課題についてどのような取り組みを行い、未然防止に努めているかを調査しました。



教職員との意見交換会

教育委員会では大津市の事例を受けて、いじめの実態把握及びいじめ問題への取り組みの徹底についての次のような指導方針を、再度各学校へ通知しています。

① いじめや人を傷つけることは人間として絶対許されないこと。いじめを許さない学校づくり。

② いじめはどの学校でもおこり得る問題であることを認識し、子供たちが発する危険信号を見逃さないこと。

③ いじめ問題の解決にあたっては組織やチームで教育委員会と連携して行うこと。

④ 学校のいじめへの対応方針を、家庭や地域に公表し理解を得るよう努めること。

また、実際にいじめが生じた場合には、関係者に対して正確な情報提供を行い、事実を隠ぺいすることなく、保護者や地域住民の信頼を確保するよう努めること。

これらの方針のもと、各学

校では人権といじめの実態把握、組織による取り組みの指導について職員研修を実施し、全職員にいじめへの指導のさらなる徹底が図られています。

飛騨市では小中学校指導における人権教育の重点を「いじめや差別を絶対に許さない学校・学級づくり、人間尊重の精神があふれる校風づくりに取り組みます」と明示し、



姿を聞いて話を聞く

各学校はこれを受けて、毎月の児童生徒理解研修を位置付け、人権教育の高揚、あるいはいじめの防止や早期発見に努めているということです。

また、生徒指導の重点を「発生意案には教育委員会と連携して、各主任を中心としたチームで指導に取り組み、迅速に対応するとともに、未然防止に努めます」として、いじめ等の発生意案に対しては各学校の教育委員会への速やか

な報告を義務付けています。

また、教育委員会から職員を派遣するなど、常に連携して対応にあたり、状況によっては保護者も含めての指導に取り組んでいるということです。さらには、いじめのない学校づくりのために、道徳・学級会をはじめ、朝の会や帰りの会の日常活動など、あらゆる機会を通して命の大切さについての意識を深める指導も重点的に実施しているとのことでありました。

意見交換会の前に古川小学校の授業を参観させていただきました。一クラスを三つに分け、能力に応じた授業を実践されており、このことも一つのいじめ対策につながるものと感じました。

この意見交換会で飛騨市におけるいじめ問題への対応は、しっかりとなされていることを確認しました。

各家庭においても学校まかせにするのではなく、あいさつや会話を大切にし、家族といっしょにご飯を食べ、常に子供の変化を見逃さないことが、何よりも大切なことであると感じました。

# 産業の振興と働く場の確保で 飛驒市の活性化推進を

## 企業訪問及び商工・観光団体と意見交換

### 産業常任委員会重点活動報告

委員長 内海良郎

#### ◆はじめに

議会改選前の昨年度、飛驒市議会は議会の基本理念であるべき議会の果たすべき役割を定めた「議会基本条例」を制定し、議会改選後の今年度4月より本条例施行となりました。

政治・行政の究極の役割は「誰もが幸せになるため力を合わせる事」です。そのために条例で、議会は市民の意見を市政に反映させるため、政策提言を行うとともに政策立案に努めると定めました。

このことから、産業常任委員会は平成24年度の活動方針を決定するに当たり、飛驒市の今置かれている現状から当委員会として、市民に何が必要とされ何が役に立てるかを話し合いました。

そこで、飛驒市が抱える一番の課題である「人口の減少」は、年平均360人である状況は、出生と死亡の差である自然現象が半数で、あと

の半数は飛驒市からの転出による社会現象であることから、人口減少に歯止めをかけるべく「産業の振興と働く場の確保」を今年度の主なテーマとしながら、飛驒市の活性化に繋げていきます。

つぎに、そのための活動計画は①所管事業調査として所管部である企画商工観光部、環境水道部、農林部、基盤整備部の重点事項や課題などの調査②所管事業の現地状況調査③県外視察調査④地元企業訪問⑤商工・観光振興意見交換会⑥農業再生意見交換会⑦データセンター調査研究⑧IT P P研修会等とし、これらの活動を通じて政策提言などにより市政に反映させていきます。

#### ◆商工・観光振興意見交換会

7月19日に神岡商工会議所、古川町商工会、北飛驒商工会、飛驒City人財会議、(株)飛驒市観光協会、南吉城旅館料理業組合、神岡旅館

組合、古川飲食店組合、数河高原観光協会、流葉観光開発協同組合の10団体22名の役員の皆様と当委員会の8名の委員にて意見交換会を実施しました。

初めての試みでもあり「意見交換会」と名を打ちました。議会側は出席下さった方々のご意見をお聞きする事を主眼としました。そして皆様より沢山のご意見や要望をいただきました。その中の主なものは次の通りです。



意見交換会後手渡される要望書

共同開発制度の拡充や税制優遇措置・資産の再認識と再発掘・限界集落対策・空家（廃屋）対策・空家利活用による転入者の受け入れ・20年位の市の施策を・地域振興ビジョンを・人材を育てる専門家の招聘・富山市との連携、商工業者との交流会・太陽光など補助金の創設・LED防犯灯補助金の創設・えごまの活用と情報発信・古川く神岡間のバス便の増発、最終便時刻の繰り下げ・巡回バス「ふれあい号」のルート及びダイヤの検証と見直し・JR高山線の最終列車坂上駅終点を猪谷駅終点へ など

#### ◎商工業関係

・地元企業の受発注増に繋がるトップセールスを・環境トラブル改善設備投資に対する固定資産税の減免等による対策・プレミアム商品券の発行・店舗などのリフォーム補助金の創設・市職員賞与の一部を商品券支給で・農業公園「山之村牧場」再建支援・(株)ねっとかわい、(株)飛驒まんが王国の抜本的対策・大型店進出による商店の疲弊・市による就職ガイダンス など

#### ◎市政全般

・高齢者など買い物弱者対策・特許申請や知財における

◎企業誘致関係

- ・データセンター誘致推進
- ・東京大学宇宙線研究所「大型重力波望遠鏡」整備等研究基盤の強化推進・研究者用の宿泊施設等の整備 など

◎観光関係

- ・新たな景観計画・条例制定等総合的景観政策の策定・
- ・天然県立自然公園協議会をモデルに池ヶ原湿原と深洞湿原の協議会の設立を・
- ・天生峠道路の早期除雪・
- ・北陸新幹線開通に向けたバス路線の開設と増便・
- ・飛騨市ブランドの確立
- ・着地型観光の取り組み・
- ・数河、流葉芝生グラウンドの整備促進と管理・
- ・流葉スキー場の冬季以外の活用・
- ・修学旅行やスポーツ合宿等の誘致・
- ・空家活用と田舎暮らし体験等による誘客 など

◎道路インフラ整備関係

- ・国道360号整備促進・
- ・国道41号異常気象時通行規制区間の早期解消並びに整備促進・
- ・中部縦貫自動車道丹生川ICから呂瀬地区を経てトンネルによる鼠餅地区經由、国道471号沿い平湯料金所までのルート決定・
- ・国道471号拡幅整備・
- ・市道跡津川線代

行事業早期完成・

神岡縦貫免道路橋梁整備早期完成・河合スマートIC復活 など

その後、委員会開催においていただきました、これらのご意見や要望に対して「委員会としての意見」を取りまとめ、その取りまとめ結果を今後の市政運営の参考としていただくよう井上市長に提出しました。

◆地元企業訪問

「産業の振興と働く場の確保」のためには地元企業の経営者にお会いして、海外へ移転する企業がある厳しい時代である中、何とか規模拡大をしていただけないか。また、取引先や関連会社などの企業誘致は出来ないか。そのために行政がお手伝いすることは何かなどを目的として7月27日、8月2日、10月11日の3日間にアルプス薬品工業(株)、(株)神岡衛生社、(株)神岡セラミック、神岡部品工業(株)、(株)喜多村、田辺製薬吉城工場(株)、日本レゾボン(株)、(株)メカトロニクス(順不同)の8社を委員8名が訪問させていただきました。

はじめに、有り難く感謝することはご多用にも関わらず社長を筆頭に役員や担当者の方々まで、心から歓迎し接していただいた事です。そして、それにも増して嬉しく感じた事は、地元の社長さんのみならず他県から来ていただいている社長さんも、会社オンリーではなく心から飛騨市の役に立ちたいと思いついて下さっていることが如実に感じとれました。本当に有り難いことです。



訪問先企業での意見交換

会社の概要説明の後、工場見学、最後に意見交換をさせていただきました。

その中で、雇用対策では、どの会社でも「優秀な地元の人材が欲しい」ということと

「採用に当たっては地元優先である」ということです。また、募集をしても市内からの応募(特に大学生)がなかったりするそうなので、市主催の就職ガイダンスの開催や市広報の活用について市に働きかけたいと思います。

また、多数聞かせていただきましたが、規模拡大や工場の老朽化に伴う新工場計画などを検討していただける会社があることや、工場立地に関する諸課題など市として協力できることは市長へ働きかけると共に、工場団地については政策提言といたします。

◆結び

意見交換会や会社訪問は議会委員会として初めて実施しましたが、関係各位のご協力に感謝を申し上げます。

聞かせていただいたご意見や要望のすべてが市政に反映出来るとは思っていませんが、議会活動として一歩づつ努力をしながら少しでも飛騨市民の役に立ち、必要とされるものを形にしたいと思っています。



12月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

| 議員名                             | 前川 | 中嶋 | 田中 | 洞口 | 野村 | 後藤 | 福田 | 菅沼 | 内海 | 森下 | 高原 | 谷口  | 天木 | 葛谷 | 山下 | 池田 | 籠山  |   |
|---------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|---|
| 議案名等                            | 文博 | 国則 | 清安 | 和彦 | 勝憲 | 和正 | 武彦 | 明彦 | 良郎 | 真次 | 邦子 | 充希子 | 幸男 | 寛徳 | 博文 | 寛一 | 恵美子 |   |
| 議案第118号 指定管理者の指定について(飛騨市さくら保育園) | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | × |

※○は賛成、×は反対

※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。